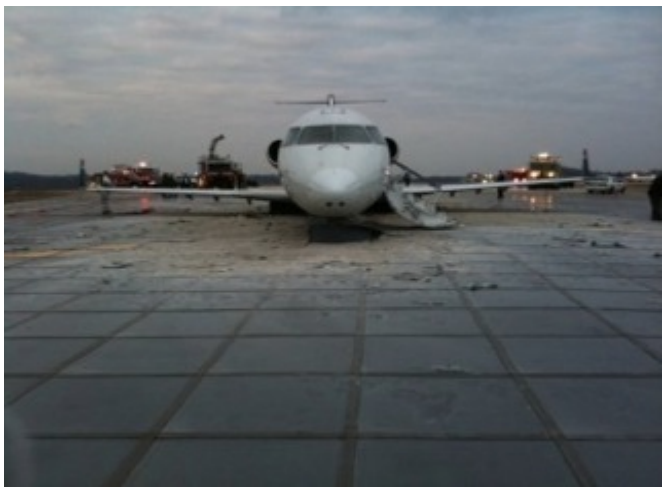
日 乗 連 ニ ュ ー ス
ALPA Japan NEWS
www.alpajapan.org　Date　2010.02.17　No. 33 – 43

発行：日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
〒144-0043
東京都大田区羽田５－１１－４
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

EMAS がまたも航空機を捕捉！！

日乗連 News(33-28)で紹介しました、EMAS(Engineered Materials Arresting Systems)がまたも Over Run した航空機を無事に捕捉しました！



＜事例の概要＞

・2010 年 1 月 19 日、米国ウエストバージニア州、Yeager 空港、Departure End of Runway 23(右図)
・CRJ200 型機が RTO 時に推定 50～55kts で進入。崖まで 100ft の場所で停止。(詳細は現在も調査中)
・30 名の乗客と 3 名の乗員は無傷(生後 6 ヶ月乳児含)。機体は損傷なしだが、ギアは交換する予定。
・EMAS の損傷は全面積の 10％程、修理見積額 1 億円以下、2、3 週間以内に完了の予定。

この空港では、切り立った地形に位置する為に十分な RESA(Runway End Safety Area)を確保できず、代わりに EMAS を 2007 年に導入しました。今回の事例を受けて、改めて EMAS の有効性が実証され、空港側も設置して良かったと感じているそうです。また、IFALPA からは昨年起こった 2 件の Over Run を例に挙げ、次のような Press Release もありました。

・Scotland、Prestwick 空港で 737-800 が Over Run　⇒　乗員乗客無傷、航空機はほぼ無傷
・Jamaica、Kingston 空港で 737-800 が Over Run　⇒　乗客 164 名中 40 名が負傷、機体全損

この 2 件の事例の違いは、前者の空港では ICAO Recommend 以上の RESA があり、後者の空港には ICAO Standard も満足しない RESA しかなかった事が特筆されている。IFALPA は 240m の RESA か、それに代わる EMAS の設置を強く推奨している。

EMAS は既にアジアでは中国に導入されており、今後も台湾の台北松山空港などにも導入予定です。空港の安全性向上を大きく向上させ、大切な命と航空機を救う有効なシステムです。

(参考)　EMAS について　http://www.zodiacaerospace.com

日乗連 AGE 委員会は今後も国際活動を通し、様々な情報を発信していきます！